

## 第4期高知市地域アクションプランの 進捗状況確認資料

高 知 市 地 域 本 部

令和4年7月7日（木）

## 高知市地域アクションプランの進捗状況確認資料 (令和3年度の実施状況と令和4年度の展開)

R4.7.7

高知市地域本部

### 1 地域アクションプランの令和3年度の実施状況と令和4年度の展開（総括）

#### (1) 総評

令和3年度は、高知市地域の全23項目の地域アクションプランに関して、実行支援チームを編成し、既存の助成制度やアドバイザー制度の活用等により、経営基盤や基礎的インフラの強化を図り、それぞれの目標の達成に向けて、着実に取り組みを進めてきた。

地域産業クラスターの取り組みでは、竹ハンドルに替わる新たな商品の開発に向けて、関係機関と連携を取り、竹材の集荷や加工・販売などの竹産産を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地への集材先エリアの拡大を図るなど、竹資源を活用したクラスターの形成を目指してきた。

農業分野では、土佐山地区のユズ関連商品について、新型コロナウイルス禍で業務用のニーズが低迷する中、「土佐山のユズ」の知名度アップと販売促進に向けて各種イベントへの参加を行った。

また、引き続き好調なインターネット販売に加え、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した都市圏での商談会への参加により売り上げを徐々に伸ばすとともに、ドローンによる防除等のスマート農業やユズ選果機、冷凍庫設備の導入などにより、産地の維持や省力化による安定的な生産等を目指している。

高知県産イタダリの外商については、鏡地区を中心に県内各地に栽培産地の拡大を図り、生産者と食品メーカー等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、生産・加工・販売が一体となったブランドの確立や組織体制の強化に取り組み、生産団体の新規加入、体制の見直しが進んでいる。

観光・商工業分野では、桂浜・浦戸湾の一体となった取り組みを進めるべく、令和3年度中に桂浜公園の観光案内所や休憩所等の整備、土産物販売店等の既存施設の耐震化ならびに指定管理者の指定が行われた。今年度はリニューアルオープンに向けて、指定管理者によるテナント募集やリノベーション工事に取り組んでいる。

浦戸湾遊覧船に新たに桂浜発着とする遊覧コースについても、新たに策定した運航手順の安全確認を進めており、県内有数の観光地である桂浜公園の魅力度アップによる観光客の増加に向けて、大きな一歩を踏み出した。

今後、高知市を中心とした34市町村による「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に登載された連携事業などの活用により、高知市を核とした県内各地への周遊観光の促進に取り組んでいく。

本年度は、1項目を自立プランに位置付けることに伴い、1減となった全22項目の地域アクションプランに関して、昨年度に引き続き実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、市、関係機関等と連携し、各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標達成に向けて取り組みをさらに進めていく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※進捗状況の基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	<b>1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興</b> (高知市)  【実施主体】 ◎・JA高知県(春野地区営農経済センター) ・JA高知県(春野地区胡瓜部会)	出荷量 10,345 t (R元園芸年度※) ※前年9月～8月	10,345 t	10,172 t	10,000 t	12,700 t	1 生産の収量・品質向上対策 ・IPM技術の推進 ・収量向上・生産の効率化 ・GAPの推進  2 担い手の確保・育成 ・新規就農者の受入強化 ・経営管理意識の向上	1 生産の収量・品質向上対策 ・個別巡回(4～6月、19回/9戸 10～12月、9回/7戸 1～3月、13回/6戸) ・実証ほ調査 (つる枯病：4～6月、36回/4戸 10～12月、6回/2戸 1～3月、13回/2戸) (赤色LED：4～6月、13回/1戸 10～12月、11回/1戸 1～3月、13回/1戸) (常温煙霧：4～6月、9回/1戸 10～12月、45回/5戸 1～3月、65回/5戸) ・IPMに関する情報提供 (黄化そ対策協議会6月、JA広報誌3月) ・環境制御アドバイザー事業 (生育調査4～6月、13回/1戸、個人面談6月、1回) ・実証ほの環境測定、生育調査 (4～6月、77回/9戸、10～12月、54回/9戸 1～3月、156回/13戸) ・IoTクラウドの利用推進 (アンケート調査5～6月、1～3月) (はるかぜ便り配布11～3月) (個別巡回10～3月) ・IoTクラウドの情報提供(チラシ配布6月) ・UECS対応型環境制御装置の情報提供 (UECS現地検討会5/20) (個別指導4～6月、4回/2戸 10～12月、12回/2戸 1～3月、8回/2戸) ・GAPチェックシート分析(4～5月、207戸 3月、202戸) ・生産者GAP分析結果のフィードバック (目慣らし会12月、31名参加) ・GAPに関する情報提供 (キュウリ旬報への掲載6月、12月) (JA広報誌への投稿6月) ・出荷場GAP点検(4・6・10・12・2月、5回) ・作業員向けのGAPに関する研修 (GAP研修会6/28、90名参加)  2 担い手の確保・育成 ・研修から独立就農に向けた一連の支援により1名独立 ・高校・農業大学校でのガイダンスを実施(2回) ・オンラインや県内募集活動に参加(4回) ・中古ハウス体制整備に向けた協議、並びに春野町新規就農者育成協議会 設立に向けた活動(3回) ・経営管理意識向上に向けた個別カウンセリング (14戸×3回)	10,364t (R3園芸年度) ・R3目標達成率：103.6% ・対前年度比：101.9%	A	キュウリ販売額の推移(各園芸年度) ・R元：30.8億円 ・R2：33.7億円 ・R3：30億円 (主な要因) ・R2はコロナ禍による巣ごもり需要による消費増 ・R3は出荷量は増えたものの単価安  (成果) ・省力化技術の確立(常温煙霧機) ・自主的なGAP点検の継続実施 ・新規就農者1名 ・経営管理意識の向上  (課題) ・省力化、環境制御技術の普及 ・黄化そ病対策の徹底 ・新規就農者の確保  (今後の方向性) ・常温煙霧機の普及促進 ・新規就農受入体制の充実	10,000t (R4園芸年度)	1 生産の収量・品質向上対策 ・IPM技術の推進 ・収量向上・生産の効率化 ・GAPの推進  2 担い手の確保・育成 ・新規就農者の受入強化 ・経営管理意識の向上

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4到達目標	R4【P (Plan)】
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況				
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
農業	<b>2 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興</b> (高知市)  【実施主体】 ◎・JA高知市 ◎・JA高知市三里園芸部花卉部会	販売額 6.03億円 (R元園芸年度※) ※前年9月～8月	6.03億円	5.0億円	5.5億円	6.5億円	1 流通・販売対策(輸出) ・県外・海外展開に向けた取り組み(販路拡大)	1 流通・販売対策(輸出) ・輸出事業計画の策定 ・ジャパンフラワー強化プロジェクト推進の活用 ・簡易蒸し込み処理によるミカンキイロアザミウマ対策実証試験(6月) ・輸出における欠品への対策としての希少品種球根の増殖計画協議(5月) ・球根養成ほ場の設置及び密植栽培試験(8～1月)	4.7億円(R3園芸年度) ・R3目標達成率：85.5% ・対前年度比：94%	(成果) ・輸本数 H27園芸年度：5.3万本 → R3園芸年度：15万本 ・輸出向け新品種である“カプリソゼ”出荷本数 R元園芸年度：－ → R3園芸年度：2.0万本 ・輸出事業計画の認定  (課題) ・輸出向け品種の欠品への対策 ・輸出に対応した品質の保持 ・生産者の一部が作付面積の一部を品目転換  (今後の方向性) ・輸出における欠品対策としての希少品種球根の効率的な増加 ・新品種の作出	5.5億円 (R4園芸年度)	1 流通・販売対策(輸出) ・球根養成ほ場の生育状況確認・栽培管理指導 ・輸出向け有望品種(ピンク系統)の球根数早期確保及び現地実証 ・輸出注文欠品率調査 ・フロリアード2022(10年に1度オランダで開催される国際園芸博覧会)への出展 ・流通(輸出)に関するセミナーや講習会への参加	
	秀品率 52.7% (R元園芸年度) サザンウィンドのみ	52.7%	45.8%	50%	55%	2 基本技術の徹底 ・病害虫対策による切り花品質の向上	2 基本技術の徹底 ・農業散布の実態調査(6～12月、15回) ・適切な農業散布方法の指導(6～12月、11回) ・実証ほの設置及び調査(9～10月、10回) ・秀品率の確認調査(4～3月、12回)	47.5%(R3園芸年度) ・R3目標達成率：95% ・対前年度比：103.7%	(成果) ・サザンウィンド生産割合 H27園芸年度：76% → R3園芸年度：88%  (課題) ・化学農薬のみに頼らない総合的な病害虫管理 ・農家別秀品率の差が大きい(75%～21%)  (今後の方向性) ・化学的防除以外への移行推進	50% (R4園芸年度)	2 基本技術の徹底 ・病害虫対策(勉強会、個別巡回指導) ・産地全体での病害虫対策技術の共有 ・土壌分析結果検討会の実施		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (%)	現状分析		
農業	<b>3 新ショウガの生産振興</b> (高知市)  【実施主体】 ◎・JA高知県（春野地区営農経済センター） ◎・JA高知県（春野地区生姜部会）	売上高 8.64億円 (R元園芸年度※) ※前年9月～8月	8.64億円	8.21億円	8.70億円	8.70億円	1 品質向上対策 ・腐敗事故対策とGAPの運動  2 新たな栽培技術の検討 ・その他の技術と普及装置（環境測定装置の活用等）	1 品質向上対策 ・腐敗事故対策とGAPの運動 腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発目慣らし会における啓発(5・6月2回) 出荷場GAP点検(4・6・10・12・2月、5回) 作業員向けGAP研修会の開催(6/28)  2 新たな栽培技術の検討 ・ハウス内環境のモニタリング及び収量調査 生育調査及び掘り取り調査(4・5月、2回) R4園芸年度実証ほの設置(12月)	8.72億円(R3園芸年度) ・R3目標達成率：100.2% ・対前年度比：106.2%	<b>A</b> (成果) ・出荷物の腐敗の主因として、病害以外の可能性が示唆された ・選果基準が見直された  (課題) ・腐敗事故対策の確立および徹底 ・ハウスショウガに適した栽培管理の確立  (今後の方向性) ・腐敗事故の原因説明 ・ハウス内環境のモニタリングと生育調査による栽培管理の実態把握	8.80億円(R4園芸年度)	1 品質向上対策 ・腐敗事故の原因説明、対策の検討 ・出荷場GAP点検 2 新たな栽培技術の検討 ・ハウス内環境データ分析を通じた栽培技術の確立 ・その他の技術と普及（環境測定装置の活用等） ・ファインバブル・炭酸ガス等の施用	
農業	<b>4 ユズを核とした中山間農業の活性化</b> (高知市)  【実施主体】 ◎・高知市土佐山柚子生産組合 ◎・JA高知市 ◎・土佐山ファクトリー(協組) ◎・旭フレッシュ(株) ◎・高知市	ユズ販売額 1.6億円 (H30)	1.6億円	1.7億円	1.7億円	1.9億円	1 安定生産 ・技術力向上、先端技術導入による安定生産 ・搾汁残渣加工施設によるユズ製油等の安定生産  2 生産基盤の維持 ・生産面積の拡大と担い手の確保・育成 ・産地ビジョンの見直し・作成  3 産地のブランド化 ・協議会の取り組みの強化	1 安定生産 ・基本技術の徹底(巡回調査11回、機関誌による情報提供12回) ・スマート農業の推進(ドローン防除試験等実面積75a、アリストス試着生産者の栽培面積30a、ﾌﾟﾚ選果機試験導入) ・ユズ果汁の安定生産(冷凍庫設備の整備)  2 生産基盤の維持 ・担い手の確保・育成(複合経営モデル(案)作成(ユズ+四方竹)) ・産地ビジョンの見直し・作成(果樹産地構造改革計画更新) ・冷凍庫設備、ﾌﾟﾚ選果機の導入(2月末)  3 産地のブランド化 ・ゆずまつり、土佐山のPR活動、イベント等の情報発信	1.4億円(R3) ・R3目標達成率：82.4% ・対前年度比：84.3%	<b>C</b> (成果) ・スマート農業の推進(ﾌﾟﾚ選果機7台導入、ドローン防除の効果把握) ・担い手の確保・育成(複合経営モデル(案)作成(ユズ+四方竹)) ・果樹経営支援対策事業による新植43a ・冷凍庫整備により、出荷された搾汁玉の積み残し解消予定  (課題) ◎安定生産 ・基本技術の徹底 ・スマート農業の推進 ・青果出荷の拡大 ◎生産基盤の維持 ・担い手の確保・育成 ・新植・改植の推進  (今後の方向性) ・スマート農業の推進(ドローン防除の具現化、ﾌﾟﾚ選果機の稼働) ・担い手の確保・育成	1.8億円(R4暦年)	1 安定生産 ・技術力向上、先端技術導入による安定生産 ・搾汁残渣加工施設によるユズ製油等の安定生産  2 生産基盤の維持 ・新改植の推進と担い手の確保・育成 ・担い手確保のビジョン作成  3 産地のブランド化 ・協議会の取り組みの強化	
農業		ユズ精油等販売額 3,877万円 (H30)	4,260万円	3,724万円	4,440万円	4,900万円	1 産地のブランド化 ・県外の大手香料メーカー等との契約更新 ・各イベントへの参加 ・販売先の拡大 ・芳香蒸留水に関する高知大学との共同研究	1 産地のブランド化 ・県外の大手香料メーカー等との契約更新(10件) ・各イベントへの参加(3回) ・県庁・市役所での土佐山ユズ製品店内販売の実施(5月、6月、11月) ・SNS等を活用した情報発信 ・芳香蒸留水に関する高知大学との共同研究(R2年度～継続中)	3032.7万円 ・R3目標達成率：68.3% ・対前年度比：81.4%	<b>D</b> (成果) ・県外の大手香料メーカー等との契約更新10件 ・県内紙業メーカーのユズ精油添加のウェットシート商品化  (課題) ・土佐山産ユズの知名度向上及びブランド化  (今後の方向性) ・SNS等を活用した情報発信 ・ユズ果汁、芳香蒸留水の販売先拡大	4,650万円	1 産地のブランド化 ・県外の大手香料メーカー等との契約更新 ・各イベントへの参加 ・販売先の拡大 ・芳香蒸留水に関する高知大学との共同研究	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	6「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興 (高知市)  【実施主体】 ◎・(一財)夢産地ときやま開発公社 ・連携農家	販売額 1.73億円 (H30)	1.85億 円	1.78億 円	1.98億 円	2.1億円	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機農業について技術指導(公社→農家) ・優良母樹からのコズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給  2 加工施設の活用による加工品の開発・製造 ・各種展示商談会への出展(9回) ・日曜市やイベント等への出店(日曜市:毎週、イベント等:6回) ・EC販売の促進(自社サイト「ときやまマルシェ」、Yahoo!、Amazonに加え、R3年1月～楽天、R3年9月～Qoo10にも参入)(対前年度比:145.2%) ⇒産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 個別支援)の活用による、内製化に向けた取り組み  3 農家及び会社の所得向上 ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援)制度の活用(オンライン会議:2回、アドバイス会議:8回) ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 個別支援)制度の活用(アドバイス会議:1回)	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機農業について技術指導(随時)  2 加工施設の活用による加工品の開発・製造 ・各種展示商談会への出展(9回) ・日曜市やイベント等への出店(日曜市:毎週、イベント等:6回) ・EC販売の促進(自社サイト「ときやまマルシェ」、Yahoo!、Amazonに加え、R3年1月～楽天、R3年9月～Qoo10にも参入)(対前年度比:145.2%) ⇒産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 個別支援)の活用による、内製化に向けた取り組み  3 農家及び会社の所得向上 ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援)制度の活用(オンライン会議:2回、アドバイス会議:8回) ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 個別支援)制度の活用(アドバイス会議:1回)	1.82億円 ・R3目標達成率:91.9% ・対前年度比:102.3%	B  (成果) ・EC販売額が対前年度比145.2%と増加  (課題) ・各部門の売上の安定化及び拡大 ・経営体制の安定化  (今後の方向性) ・公益性は高いが収益の見込めない事業(庭先集荷・土づくりセンターの運営等)を収益事業が補完する仕組みづくり ・既存商品のブラッシュアップ及び新商品開発による商品ラインナップの充実 ・有機農産物の強みを生かしたセールの強化 ・SNS等を活用したEC販売強化による収益の向上 ・人員・人材不足の解消 ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援、個別支援)の導入による経営改善策及び成長性のある事業の収益向上策の検討と実行支援	2.04億円	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機農業について技術指導(公社→農家) ・優良母樹からのコズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給  2 加工施設の活用による加工品の開発・製造 ・各種展示商談会への出展 ・日曜市やイベント等への出店 ・EC販売の促進  3 農家及び会社の所得向上 ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援)制度の活用 ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 個別支援)制度の活用	
農業	8 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市)  【実施主体】 ◎・JA高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」) ◎・加工組織なるクラブ	直販所売上高 9,200万円 (R元)	9,200万 円	8,820.9 万円	9,300万 円	1億円	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・顧客サービスの充実  2 加工組織なるクラブを中心とした加工品製造の充実 ・既存商品の見直し・重点化 ・衛生管理とHACCP対応	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・食衛生法の改正についての講習会開催(1回) ・「直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣」のフォローアップ(1回)  2 加工組織なるクラブを中心とした加工品製造の充実 ・POSデータ分析による課題の検討、取り組みの進捗管理、製造計画の策定(チーム会:6回) ・6次産業化サポートセンター事業の活用(チーム会:3回、試作会:1回) ・衛生管理およびHACCPの手順書作成(チーム会:1回)	8,958.7万円(R3) ・R3目標達成率:96.3% ・対前年比:101.6%	B  (成果) ・コロナ禍で目標金額は達成出来なかったものの、売上は前年より増加した。 ・営業届出対策の完了 ・他直販店への商品販売開始 ・加工品メニューの増加  (課題) ・生産体制に見合った、商品の開発 ・生産者の高齢化  (今後の方向性) ・顧客サービスUPに向けた売り場リニューアル実行に向けた支援 ・生産体制に見合った、既存商品の見	9,300万円 (R4暦年)	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・顧客サービスの充実  2 加工組織なるクラブを中心とした加工品製造の充実 ・既存商品の見直し・重点化 ・HACCPと食品表示対応支援	
農業	9 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出(高知市)  【実施主体】 ◎・岡崎牧場 ・高知市酪農農業協同組合	加工品の販売額 981万円 (R元)	981万円	927万円	1,100万 円		1 地場産品による生乳加工品の製造・販売 ・季節商品の開発(10品) ・週替わりイチゴ商品(4月) ・父の日用ケーキ(6月) ・ソフトクリームオンコーゼーゼー(7月) ・カボチャプリン・紫イモモンブラン(10月) ・イチゴミルクパエリア(1月) ・週替わりイチゴフェア每一会(2~3月) ・商品磨き上げ(1品) ・ロールケーキ用ギフトボックス変更  2 牧場の賑わいの創出 ・酪農教育ファームの実施等(1回) ・情報発信 SNSでの情報発信 テレビ高知「からふる」での生放送 誕生日ケーキチラン店内掲示	1 地場産品による生乳加工品の製造・販売 ・季節商品の開発(10品) ・週替わりイチゴ商品(4月) ・父の日用ケーキ(6月) ・ソフトクリームオンコーゼーゼー(7月) ・カボチャプリン・紫イモモンブラン(10月) ・イチゴミルクパエリア(1月) ・週替わりイチゴフェア每一会(2~3月) ・商品磨き上げ(1品) ・ロールケーキ用ギフトボックス変更  2 牧場の賑わいの創出 ・酪農教育ファームの実施等(1回) ・情報発信 SNSでの情報発信 テレビ高知「からふる」での生放送 誕生日ケーキチラン店内掲示	1125.6万円(R3) ・R3目標達成率:102.3% ・対前年比:121.4%	A  (成果) ・販売額の増加  (課題) ・来場者の増加 ・酪農教育ファームにおける防疫、省力化  (今後の方向性) ・SNSによる情報発信の継続 ・衛生マニュアルの作成			

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況				R4到達目標
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
林業	10 高知市の原木増産の推進 (高知市)  【実施主体】 ◎・高知市森林組合	素材生産量 3,056㎡ (H30)	3,914㎡	2,373㎡	3,000㎡	4,200㎡	1 事業地の拡大 ・森の工場の維持、拡大 ・森林経営管理制度を通じた事業地の拡大  2 生産性の向上 ・新たな作業システム導入の検討 ・スケールメリットによる生産性向上のための事業地の集約化  3 作業員の技術力の向上 ・若手作業員のスキルアップ	1 事業地の拡大生産性の向上 ・計画期間を終了した「森の工場」の再登録  2 生産性の向上 ・高知市及び高知市森林組合へ県の増産支援策の紹介(5/24) ・高性能林業機械の紹介、導入を打診(6/7)	2,392㎡ ・R3目標達成率：79.7% ・対前年度比：100.8%	C  (成果) ・森の工場 2,263.2ha新規樹立  (課題) ・事業地の確保 ・生産性向上の推進 ・担い手の確保  (今後の方向性) ・高知市から提供された森林GIS情報を活用した事業地の選定、確保 ・生産性向上に向けて、作業員のスキルアップ及び作業員の確保	3,800㎡	1 事業地の拡大 ・森の工場の維持、拡大 ・森林経営管理制度を通じた事業地の拡大  2 生産性の向上 ・新たな作業システム導入の検討 ・スケールメリットによる生産性向上のための事業地の集約化  3 作業員の技術力の向上 ・若手作業員のスキルアップ	
林業	11 イタドリの外産推進による中山間地域の振興 (高知市)  【実施主体】 ◎・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会 ・連携農家	加工品販売額 89.4万円 (H30)	247万円	113.9万円	623.5万円	1,000万円	1 産地強化 ・鏡産イタドリ苗の他地域への販売 ・加工技術講習会、現地指導等の実施 ・イタドリの品種選抜に関する検討  2 ブランド化の推進 ・ブランド化に向けた高品質生産 ・展示商談会への出展 ・イタドリを活用した新商品の開発 ・一次加工品のHACCP認証取得  3 組織体制の強化 ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会活動支援	1 産地強化 ・鏡産イタドリ苗の他地域への販売 (H29～R3累計：73地域、47,646本) ・JA高知市女性部鏡支部加工部によるイタドリ加工技術研修会の実施 (大野見北地区から3名参加) ・来年度のイタドリ一次加工品買い取りについての協議 (高知県食品工業団地・集落活動センターおのおのみきた) ・イタドリの品種選抜に関する検討会 (5月1回)  2 ブランド化の推進 ・展示商談会への出展 (3回) ・イタドリを活用した新商品の開発 (H29～：6商品(開発中含む)) ・JA高知市女性部鏡支部加工部による県版HACCP第2ステージ認証申請(3月)  3 組織体制の強化 ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会総会の開催 (1月)	192.6万円 ・R3目標達成率：30.9% ・対前年度比：169.1%	D  (成果) ・鏡産イタドリの栽培地拡大 (H29～R3累計：73地域、47,646本)  (課題) ・県内栽培地域のさらなる拡大 ・市場ニーズにあった原料の確保、新たな商品の開発 ・外商に向けた組織体制の強化  (今後の方向性) ・栽培を始めた地域への個別技術講習、現地指導等の実施 ・栽培から一次加工品の出荷まで一貫した支援体制の整理と苗購入者への周知 ・中食向けの商品開発の検討 ・生産者と販売者の連携による産地視察型商談の検討 ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会の事業推進体制の強化	811.8万円	1 産地強化 ・鏡産イタドリ苗の他地域への販売 ・加工技術講習会、現地指導等の実施 ・イタドリの品種選抜に関する検討  2 ブランド化の推進 ・ブランド化に向けた高品質生産 ・展示商談会への出展 ・イタドリを活用した新商品の開発 ・一次加工品のHACCP認証取得  3 組織体制の強化 ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会活動支援	
農業	12 春野地区の農産物の付加価値向上 (高知市)  【実施主体】 ◎・(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家	販売額 6,000万円 (H30)	6,100万円	5,754.7万円	7,800万円	9,400万円	1 加工品の販路拡大と新たな商品開発 ・百貨店・高質系量販店等への営業活動 ・展示商談会等への出展 ・新たな加工品の開発 ・メディア等への露出による知名度向上  2 加工に適した野菜等の生産体制の整備 ・加工野菜等の生産体制の強化	1 加工品の販路拡大と新たな商品開発 ・百貨店・高質系量販店等への採用件数 (新規取引先2社、R3お中元への採用3社、R3お歳暮への採用2社) ・展示商談会等への出展 (2件) ・ベルガモット関連商品数 (12商品 (開発中2商品)) ・高知家うまいもの大賞2022優秀賞を受賞 (受賞商品「土佐ベルガモットスパークリング」) ・ベルガモットについてメディア等への露出 (9件) ・SDGsの取り組みについてメディア等への露出 (1件)  2 加工に適した野菜等の生産体制の整備 ・新品目の栽培試験	6,655万円 ・R3目標達成率：85.3% ・対前年度比：115.6%	B  (成果) ・百貨店・高質系量販店等への採用の安定かつ新規取引先2社獲得 ・全国メディアからの取材が増  (課題) ・原料の供給体制の強化 ・販売拡大と外商強化 ・商品ラインナップの充実と新たな主力商品の普及  (今後の方向性) ・栽培技術の周知、連携農家の掘り起こし ・既存取引先を中心とした営業の強化による販売拡大 ・EC販売の強化 ・ベルガモットを軸にした新商品の開発	8,600万円	1 加工品の販路拡大と新たな商品開発 ・百貨店・高質系量販店等への営業活動 ・展示商談会等への出展 ・新たな加工品の開発 ・メディア等への露出による知名度向上  2 加工に適した野菜等の生産体制の整備 ・加工野菜等の生産体制の強化	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	13 竹資源活用クラスタープロジェクト（高知市）  《実施主体》 ◎・(株)コスモ工房 ◎・(同)高知竹材センター	売上高 7,671万円 (H30)	8,556万 円	9,058万 円	9,500万 円	1.1億円	1 原竹の集材体制の確立 ・関連事業者との協議  2 販路開拓及び新商品開発 ・産業振興センターによる事業戦略 実行支援 ・工業技術センターとの新商品開発 ・展示商談会への出展  3 加工品製造の生産性の向上 ・生産体制の確立・強化	1 原竹の集材体制の確立 ・関連事業者との協議(2回)  2 販路開拓及び新商品開発 ・産業振興センターによる事業戦略 実行支援 ・工業技術センターとの新商品開発 ・展示商談会への出展(1回)	7144.2万円 (R3) ・R3目標達成率：75.2% ・対前年比：78.8%	C  (成果) ・試作品の開発に着手  (課題) ・自動車用竹ハンドルに替わる商品開 発及び原竹の仕入れ先維持・確保  (今後の方向性) ・工業技術センター・産業振興センター との試作品開発の継続 ・小ロットの受注受け込み ・竹ブラシの生産性向上のための機械 導入	9,500万円	1 原竹の集材体制の確立 ・関連事業者との協議  2 販路開拓及び新商品開発 ・産業振興センターによる事業戦略 実行支援 ・工業技術センターとの新商品開発 ・展示商談会への出展  3 加工品製造の生産性の向上 ・生産体制の確立・強化	
商工業	No.15 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上（高知市）  《実施主体》 ◎・高知市 ・高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体	中心市街 地の居住人 口 5,215人 (H30)	5,407人	5,490人	5,252人	5,290人	1 高知市中心市街地活性化基本計 画の推進 ・計画登載60事業の実施	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ○街なかにおけるにぎわいづくり ・ごうち春花まつり（5/3～5） ・おびさんマルシェ（8回） （4/11,6/20,9/19,10/17,11/14,12/12,3/6, 3/13） ・土曜夜市（7/31）※最終日のみ実施 ・ドリンクラリー（はしご酒大会（11/15～19） ・イルミネーションフェスタ（11/26～1/16） ・高知市食ベタククーポン（12/16～1/31） ・テイクアウトフェスタ（1/22～23）	5,529人 (R3実績) ・R3目標達成率：105.3% ・対前年比：107.3%	A  (成果) ・新型コロナウイルス感染症対策を行いつ つ、実施可能な形でのイベントの開催  (課題) ・新型コロナウイルス感染症による中心市 街地の経済及び人の流れの停滞  (今後の方向性) ・引き続き新型コロナウイルス感染症の動 向を注視しつつ、商店街でのイベント等 の実施を行う	5,290人	1 高知市中心市街地活性化基本計 画の推進 ・計画登載60事業の実施 官民が連携し、賑わい溢れ、活力 のある中心市街地の形成を推進し ていく。	
		歩行者通 行量（17 地点・冬 季・平日休 日2日の合 計） 121,330 人 (H30)	144,672 人	75,866 人	122,639 人	123,278 人	1 高知市中心市街地活性化基本計 画のフォローアップ、計画の見直し ・高知市中心市街地活性化協議会 の開催、定期フォローアップ	1 高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ、 計画の見直し ・第13回高知市中心市街地活性化協議会の開催 (5/17) ・令和2年度定期フォローアップ報告を内閣府へ提出 (5/21) ・令和2年度定期フォローアップ報告の公表（8/24） ・第三期高知市中心市街地活性化基本計画策 定検討委員会開催（11/18,3/30） ・第二期高知市中心市街地活性化基本計画の 変更認定（3/8）	104,188人 (R3実績) ・R3目標達成率：85% ・対前年比：137.3%	B  (成果) ・高知市中心市街地活性化協議会及び 第三期計画策定に向けた第1回第三 期高知市中心市街地活性化基本計画 策定検討委員会の開催  (課題) ・新型コロナウイルス感染症の動向を注視 しつつ、第三期計画策定に係る事務を 滞りなく遂行する  (今後の方向性) ・第三期計画の認定申請は期限があるた め、申請が遅れることがないよう日程を調 整していく	123,278人	1 高知市中心市街地活性化基本計 画のフォローアップ、計画の見直し ・高知市中心市街地活性化協議会 の開催、定期フォローアップ ・第三期高知市中心市街地活性化 基本計画策定に向けた事務の遂行	



分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4到達目標	R4【P (Plan)】 R4年度計画
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)		
商 工 業	<b>16 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化</b> (高知市)  《実施主体》 ◎・高知市 ◎・出店者3組合ほか関係団体等	新規出店者数 12件 (H30)	34件 (うち5件が 新基準)	17件 (うち7件が 新基準)	20件	20件	1 街路市活性化構想の推進 ・街路市開催日の情報発信 ・TSUNAGUマーケット (高知市商工振興課主催) ・学校等の出店支援、販売体験  2 街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し	1 街路市活性化構想の推進 ・街路市開催日の情報発信 ・TSUNAGUマーケット (高知市商工振興課主催) ・学校等の出店支援、販売体験 ・県ゆかりの漫画家製作による看板を写真スポットとして設置(3月)  2 街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し ・街路市運営協議会 ・街路市活性化推進委員会	11件 (うち3件が新基準) (R3実績) ・R3目標達成率：55% ・対前年比：64.7%	<b>D</b> (成果) ・街路市活性化構想の推進  (課題) ・コロナ禍による新規出店者の減少  (今後の方向性) ・新規出店希望者のお試し出店用テントの取得	20件	1 街路市活性化構想の推進 ・街路市開催日の情報発信 ・TSUNAGUマーケット (高知市商工振興課主催) ・学校等の出店支援、販売体験  2 街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し ・街路市運営協議会 ・街路市活性化推進委員会
	れんけい小間来客数 14,836人 (H30)	20,424人	4,838人	9,000人	24,000人	1 れんけいこうち日曜日出店事業の推進 ・各地区のれんけい小間出店 ・れんけいスタンプラリー (2回開催)	1 れんけいこうち日曜日出店事業の推進 ・各地区のれんけい小間出店 ・れんけいスタンプラリー (3月に開催)	3,582人 (R3実績) ・R3目標達成率：39.8% ・対前年比：74.2%	<b>D</b> (成果) ・れんけいスタンプラリーの開催 ・れんけい日曜日出店事業の推進  (課題) ・コロナ禍による輪番出店者の減少  (今後の方向性) ・れんけい小間の増加	18,000人	1 れんけいこうち日曜日出店事業の推進 ・各地区のれんけい小間出店 ・れんけいスタンプラリー(2回開催)	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4到達目標	R4【P (Plan)】 R4年度計画	
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況				
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)			現状分析
観光	18 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展（高知市）  《実施主体》 ◎・高知市 ◎・(公社)高知市観光協会 ・その他関係団体等	よさこい祭り 来場者数 115万人 (R元)	115万人	-	120万人	120万人	1 よさこい祭りの運営体制の充実	1 よさこい祭りの運営体制の充実 ・よさこい祭り中止	・R3目標達成率：-% ・対前年比：-%	-	(成果) よさこい祭り中止  (課題)  (今後の方向性)	120万人	1 よさこい祭りの運営体制の充実 ・コロナ禍での開催方法の検討
	高知よさこい情報交流館入館者数 56,638人 (R元.1～12月)	56,638人	23,752人	57,750人	60,000人	1 高知よさこい情報交流館の充実 ・館内展示物の見直し ・体験プログラムの拡充と「交流の場」としての機能拡張  2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・よさこいを通じた県外団体との協力関係の強化 ・新たな団体との協力関係の構築 ・県外よさこいイベントにおける観光PRブースの出展	1 よさこい情報交流館の充実 ○よさこい情報交流館の充実 ・よさこいの開催（4/25 新型コロナの影響により中止） ・「いろんな鳴子展」の実施（4/1～6/29） ・「夏休み子どもよさこい教室」の実施（8/9～8/10） ・「みんなでよさこいプロジェクト～未来へつなぐ～」の実施（8/9） ・「NEXTステージへVR360° よさこい新体験」（11/26～11/28） ・鳴子づくり体験の実施（R3.1～12月末）295人 ・よさこい踊り体験の実施（R3.1～12月末）1,761人  2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・2020 東京オリ・パラの開催延期によるプレミアムよさこい in 東京（7/2YouTube 配信）	18,835人 ・R3目標達成率：32.6% ・対前年比：79.3%	D	(成果) よさこい情報交流館入館者数（R3.1～12月末）：18,835人 ※まん延防止等重点措置適用に伴う臨時休館のため（休館期間：R3.8/21～9/26）  (課題) ・情報交流館の臨時休館や体験メニューの休止による来館者数や体験者数の減少 ・各種イベントの開催中止による県外での観光PRの機会の減少  (今後の方向性) ・交流館の企画展の充実や「よさこいリターンズ」等の代替イベントの開催 ・県外イベントの開催状況とあわせて再開時期を検討	57,750人	1 高知よさこい情報交流館の充実 ・交流館の企画展の充実や「よさこいリターンズ」等の代替イベントの開催  2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・県外のよさこいの開催状況を注視	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4到達目標	R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
観光	<b>20 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興（高知市）</b>  《実施主体》 ◎・高知市 ◎・(株)はりま家 ・民間事業者	桂浜公園 来園者数 (暦年) 649,096 人 (R元.1～ 12月末)	649,096 人	384,589 人	520,000 人	800,000 人	1 桂浜公園整備 ・既存売店の耐震補強工事 ・指定管理者募集要項作成・選定 ・公益施設整備  2 船着き場整備 ・観光遊覧船の桂浜寄港地発着運航	○桂浜公園整備 ・高知県観光振興推進総合支援事業費補助金の交付決定（8月） ・指定管理の指定(12月) ・バス待合所、観光案内所、トイレ等の公益施設整備完了（2月） ・商業施設の耐震補強工事完了(3月)	344,547人 ・R3目標達成率：66.3% ・対前年比：89.6%	<b>D</b> (成果) ・桂浜公園来園者数 (R3.1～12月末)：344,547人  (課題) ・工事開始後、来園者の安全確保 ・桂浜公園整備後、県内全域への観光客の周遊の促進や着地型観光商品の造成 ・臨時バス待合所及び観光案内所の設置  (今後の方向性) ・桂浜公園管理事務所や公共建築課、工事業者等との連携による事故防止策の検討 ・コンベンション協会やとてらす、こうち観光ナビ・ツーリストセンター等との連携 ・高知市所有空き店舗へのバス待合所設置 ・バス待合所整備後に臨時観光案内所の設置および臨時看板設置	650,000人	1 桂浜公園整備 ・指定管理によるリニューアル プレオープン（10月） グランドオープン(3月) ・リニューアル工事に伴う事故防止策の実施 ・旅行事業者等へのPR  2 船着き場整備 ・観光遊覧船の桂浜寄港地発着運航	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
観光	<b>21 浦戸湾を活用した観光の振興</b> (高知市) 《実施主体》 ◎・(株)土佐レジン	観光遊覧船の乗船客数 1,064人 (H30)	1,631人	551人	2,000人	5,000人	1 周辺地域の団体や事業者と連携した遊覧コースの拡充 ・スタッフの増員 ・観光商品の開発 ・新コース運航にかかる安全・効率化システムの構築 2 観光客に向けたPR活動 ・メディアでの情報発信 ・SNSでの情報発信 ・イベントへの参加	1 周辺地域の団体や事業者と連携した遊覧コースの拡充 ・船長及びスタッフの増員(5名) ・観光商品の開発 コンベンション協会による商品開発(1つ) ・安全・効率化システムの構築(ポンツーン・無線機導入) 2 観光客に向けたPR活動 ・メディアでの情報発信 (ほっとこち掲載(4月号) とさでんターミナルビル西面ビジョンでの動画放送(3月) ・SNSでの情報発信	824人 (R3) ・R3目標達成率：41.2% ・対前年比：149.5%	<b>D</b> (成果) 新コース運航にかかる運輸局への届出が完了し、GWからの運航に向けて準備が進んでいる。 (課題) ・スムーズな運航手順の確立 ・新コースのPR強化 ・柱浜周辺事業者との連携 (今後の方向性) ・効果的なPRの検討 ・柱浜周辺事業者との協議	2,000人	1 周辺地域の団体や事業者と連携した遊覧コースの拡充 ・ガイドスタッフの増員、育成 ・観光商品の開発 2 観光客に向けたPR活動 ・観光案内所や空港等でのリーフレットの設置 ・メディア、SNSでの情報発信 ・イベントへの参加	

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 21 浦戸湾を活用した観光の振興 (高知市) ※ステップアップ事業 11/4 交付決定、1/25 変更交付決定</p>	<p>・新コース運航にかかる安全・効率 化システムの構築及びPRの実施</p>	<p>3,385 千円 (1,538 千円)</p>